

2021年度 一般選抜前期日程判定基準

<美術学科>

A 区分

B 区分

C 区分

【A 区分】

【デッサン】

2021 年 2 月 25 日

令和 3（2021）年度 尾道市立大学芸術文化学部美術学科
一般選抜前期日程 出題区分 A デッサン 試験問題
制作時間 6 時間（9:00～12:00・13:00～16:00）

【出題】

石膏像『アマゾン』を鉛筆デッサンしなさい。

〈出題意図〉

石膏像の動きをとらえ、全体的な構造と量感、形態を表現し、細部の描写まで観察した上で、空間表現など自然な印象を合わせることができているか。

〈評価基準〉

的確な構図がとれているか。全体のプロポーションが正確に捉えられ、細部の描写や質感など石膏像の印象が再現できているか。明暗が整理され、空間表現が自然であるか。

【彩色表現】

2021年2月26日

令和3(2021)年度 尾道市立大学芸術文化学部美術学科
一般選抜前期日程 出題区分A 彩色表現 試験問題
制作時間 6時間(9:00~12:00・13:00~16:00)

【出題】

与えられたモチーフを自由に使用し、着彩写生しなさい。

【モチーフ】 ・アマリリス(赤・白)…各1本 ・標本瓶…1個
・ロマネスコ(カリフラワーの仲間)…1個 ・はるか(柑橘類)…2個
・にんにく…1房 ・イチゴ…4個

※白模造紙は、描く必要はありません。

※縦構図で描く場合は受験番号が右上に

横構図で描く場合は受験番号が左上になるようにしてください。

〈出題意図〉

空間を表現できるようにモチーフを的確に配置できているか。与えられたモチーフの特性に配慮した画面構成ができているか。色や形態、質感の違いを観察した描写や自然に見える空間表現が出来ているかを見る課題。

〈評価基準〉

画面の構成力や形態と空間のとらえ方、質感表現、色彩感覚などのそれぞれの感性と、素直に観察できているか、細部まで描写できているかの熱意を総合的に評価する。

【B 区分】

【デッサン】

2021 年 2 月 25 日

令和 3（2021）年度 尾道市立大学芸術文化学部美術学科
一般選抜前期日程 出題区分 B デッサン 試験問題
制作時間 6時間（9:00～12:00・13:00～16:00）

【出題】

「モチーフを自由に組み合わせて描きなさい。」

【モチーフ】 ビーカー（500ml）、トレーシングペーパー、ラシャ紙（黒）
でべら、デコポン

【条件】 画面は縦横自由です。
モチーフの選択は自由です。
イーゼル、椅子のセットは自由ですが、周囲の迷惑になる事はしないで下さい。
板と箱イスは、モチーフをセットするために自由に使っても良い。

※トイレの際は、監督者に本学の受験票を預けて退室すること。

〈出題意図〉

配付物の魅力を自らの感性で探し、表現できているかを問う。

〈評価基準〉

- 配付物を本人の資質や感性に基づき観察できているか。
- 配付物の自由な組み合わせによって生まれる新鮮な気づき、発見が表現されているか。
- 出題内容に自分の感性で向き合っているか。

【彩色表現】

2021年2月26日

令和3(2021)年度 尾道市立大学芸術文化学部美術学科
一般選抜前期日程 出題区分B 彩色表現 試験問題
制作時間 6時間(9:00~12:00・13:00~16:00)

【出題】

「自分と室内空間」

【条件】 マスクは着用したまま描くこと。
画面は縦横自由です。
イーゼル、椅子のセットは自由ですが、周囲の迷惑になる事はしないで下さい。
鏡は割ってはいけません。

※トイレの際は、監督者に本学の受験票を預けて退室すること。

〈出題意図〉

自分と室内空間との関係を自らの感性で捉え、彩色表現できているかを問う。

〈評価基準〉

- 自分の存在を本人の資質や感性に基づき観察できているか。
- 描画材の特性を活かした表現ができているか。
- 出題内容に自分の感性で向き合っているか。

【C 区分】

【デッサン】

2021 年 2 月 25 日

令和 3（2021）年度 尾道市立大学芸術文化学部美術学科
一般選抜前期日程 出題区分 C デッサン 試験問題
制作時間 6時間（9:00～12:00・13:00～16:00）

【出題】

与えられたモチーフを画面構成して、デッサンをしなさい。

【モチーフ】 スルメ、洗濯バサミ

- 【条件】
1. B3 画用ボード全面を画面とし、用紙のタテ・ヨコは自由です。
 2. 構成するモチーフの数は自由です。
 3. モチーフ以外を描いてはいけません。
 4. A4 のコピー用紙 3 枚は下書き用紙です。試験終了後は持ち帰ってください。

※試験終了後、画面の上下が分かるように用紙の裏側に大きく上向きの矢印↑を描いてください。

〈出題意図〉

デッサンを通じてモチーフの質感と形態の違い、魅力的な空間構成などをみる問題。

〈評価基準〉

- ・与えられたモチーフをよく観察した上で、その中から魅力的な形や表情を引き出し、さらにそれを自分独自の表現として描かれているか。
- ・平面における空間構成を通して、モチーフ同士の関係性が上手く表現されているか。
- ・問題文の条件を的確に理解できているか。

【彩色表現】

2021年2月26日

令和3(2021)年度 尾道市立大学芸術文化学部美術学科
一般選抜前期日程 出題区分C 彩色表現 試験問題
制作時間 6時間(9:00~12:00・13:00~16:00)

【出題】

「雨」をテーマに「直線」や「線分」を使って、彩色構成をなさい。

- 【条件】
1. 用紙のタテ・ヨコは自由です。
 2. B3 画用ボードに直径 33cm の円をコンパスで描き、その内側を画面とします。
 3. 直径 33cm の円はボード内に自由に配置してよいが、ボードの外にはみ出してはいけません。
 4. 構成する「直線」や「線分」の数は自由です。
 5. A4 のコピー用紙 3 枚は下書き用紙です。試験終了後は持ち帰ってください。

※試験終了後、画面の上下が分かるように用紙の裏側に大きく上向きの矢印↑を描いてください。

〈出題意図〉

抽象的なテーマを通して、色彩感覚や独自の発想、空間構成などをみる問題。

〈評価基準〉

- 与えられたテーマから、魅力的な形態や造形を見出し、さらにそれを自分独自の彩色表現として描かれているか。
- 平面における空間構成を通して、テーマを魅力的に表現されているか。
- 問題文の条件を的確に理解できているか。

〈合格者作品〉

【前期】

A 区分

デッサン

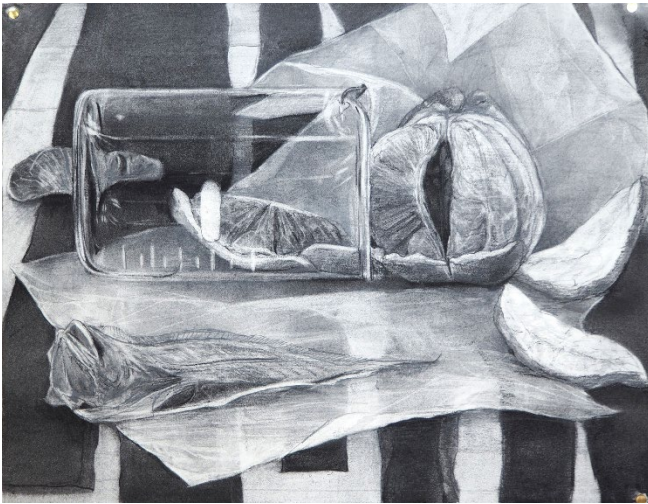


着彩

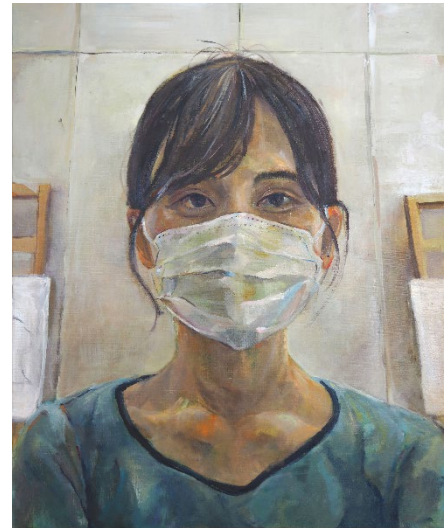


B 区分

デッサン



着彩



C 区分

デッサン



着彩

